

# 学習課題(中学校2年生)



## 【国語】

### <学習内容>

○教科書「盆土産（P92～105）」を読んで、登場人物になりきって日記を書くことを通して登場人物の思いを読み取り、作品に対して感じたことや考えたことを家の人に伝えよう。

### <取り組み方>

- ① 「盆土産」を音読しよう。
  - ② この作品は、①初め～P96・6行目、②P96・7行目～P100・19行目、③P101・1行目～さいごの三つに分けて構成されている。それぞれの時・場所・人物・出来事をまとめ、場面の状況を整理しよう。
  - ③ 物語の中で好きな場面を選び、登場人物の誰かになりきって、ある日の日記を書いてみよう。
    - (1) 場面ごとに「優しさや温かさ」を感じさせる人物の言動や様子が描かれている表現を探し、右横に線を引き、そこから読み取れる人物の人柄や心情を簡単にまとめよう。

(例)「父っちゃんのだしをこさえておかねばなあ。」(P93・7行目)  
→父親の好物である生そばのだしを作って喜ばせたい、という姉の気持ちが読み取れる。
    - (2) (1)を参考として、他の人物に対する思いはどのようなものだったか、考えてみよう。
    - (3)「えびフライ」「えんぴフライ」という語に込められた心情を、場面の状況を踏まえて考えよう。
      - ・少年が川へ釣りに行く場面をつぶやく「えびフライ」(P93・18行目、P95・6行目)
      - ・少年が隣の喜作に対して言った「えびフライ」(P99・1行目)
      - ・祖母が母の墓前で言った「えんぴフライ……。」(P101・12行目)
      - ・少年が父親を見送る停留所でってしまった「えんぴフライ」(P103・4行目)
    - (4)本文中で使われている方言を使ってみよう。
  - ④ 優しさや温かさが表れているところなど、いちばん印象に残る場面を選び、自分がその場面を選んだ理由や考えたことなどを家の人に説明してみよう。
- ※①～④に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。
- ※④について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。